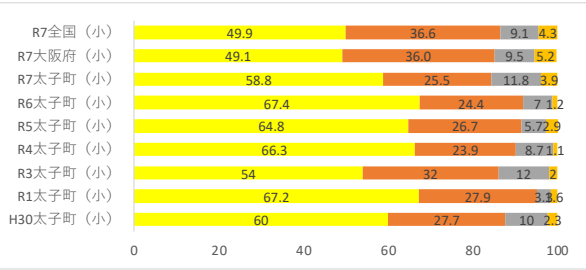


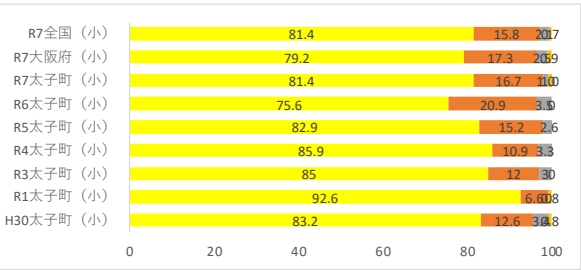
質問調査結果

▼ 経年比較をおこなっている指標について

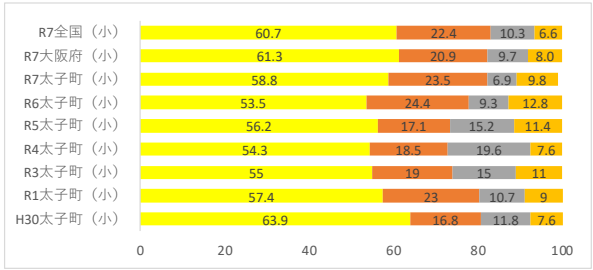
学校に行くのは楽しいと思いますか



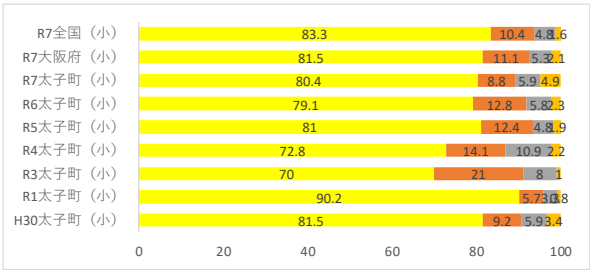
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う



将来の夢や目標を持っていますか



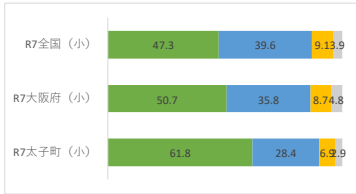
朝食を毎日食べている



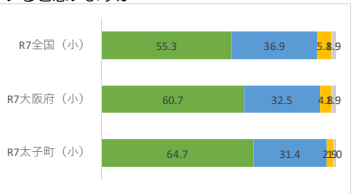
「学校が楽しい」と答えた児童は58.8%で全国・府を上回り、先生や友だち、地域・保護者の支えによる安心感が背景にあると考えられ、今後も連携して居場所づくりを進めます。「いじめはいけない」と答えた児童は81.4%で前年より上昇し、人権教育の定着が見られる一方、引き続き人権意識を育む取組を重ねます。「将来の夢や目標がある」児童は58.8%で全国・府を下回り、課題が残るため、多様な体験を通して興味や強みを見つける学びを充実させます。「朝食を毎日食べている」児童は80.4%で全国・府を下回るものの改善傾向にあり、引き続き家庭と連携して生活習慣の定着を支援します。

▼ 特徴的な指標について

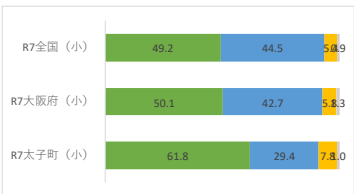
自分には、よいところがあると思いますか



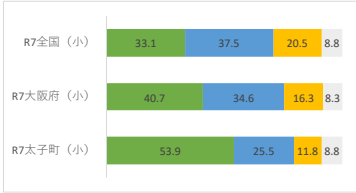
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



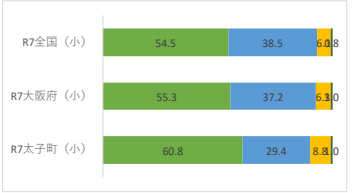
人が困っているときは、進んで助けていますか



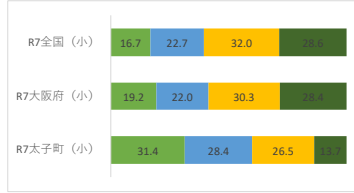
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(悪い事は除

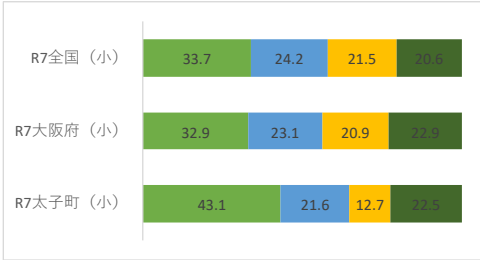


■ 当てはまる (強肯定) ■ どちらかといえば当てはまる (肯定) ■ どちらかといえば当てはまらない (否定) ■ 当てはまらない (強否定)

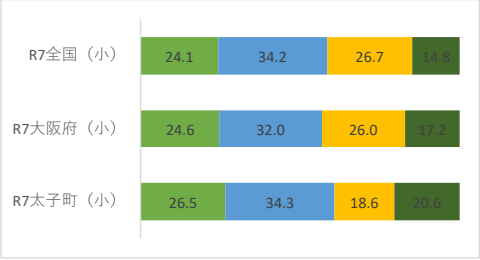
「自分にはよいところがある」と答えた児童は61.8%で全国・府を大きく上回り、自己肯定感の高い風土が根づいている。「先生がよいところを認めてくれている」と感じる児童も64.7%と高く、承認的な関わりが浸透しています。「人が困っているときに助ける」と答えた児童は61.8%で、思いやりや協働性が育っています。「困りごとを先生に相談できる」と答えた児童は53.9%で、信頼関係が形成されつつも、一部に支援が届きにくい層も見られます。「普段の生活で幸せを感じる」と答えた児童は60.8%で、つながりや安心感が幸福感につながっていることがうかがえます。また、「地域の大人と関わる機会がある」と答えた児童は31.4%で全国・府を大きく上回り、地域と学校の協働が進む一方、全児童への機会保障が今後の課題です。

▼ 教科に関する特徴的な指標について

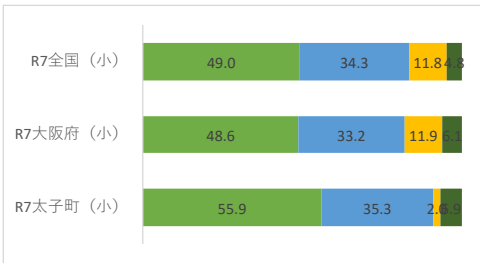
算数の勉強は好きですか



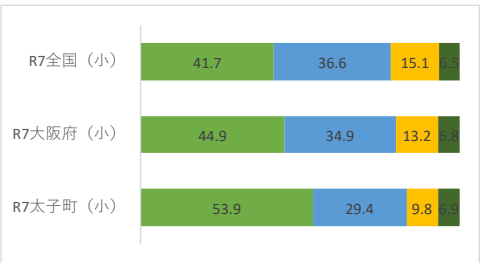
国語の勉強は好きですか



算数の授業の内容はよく分かりますか



算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか



算数への好意的な意識が高く、授業理解・生活活用にも優れている 国語への関心はおおむね平均的で、表現や読書活動を通じた楽しさの実感が課題

これらの結果から、太子町では「わかる喜び」「生活につながる学び」を実感できる授業が根づいており、今後は、国語・算数のいずれにおいても、**主体的に学び、学びを生かす力をさらに伸ばす授業づくり**を進めていきます。